

農具川河川公園化事業

取り組みに至る背景・事業の目的

農具川の歴史を尊重し、植物・生物の育成及び周辺の美化に取り組み、山岳文化都市に相応しい独創的な発想による小川の河川公園化事業を行なう。

周辺住民と小中学生も含めた地域づくり事業として、河川を有効活用し、北アルプスの山並みを活かした後世に引き継がれる景観形成を目指すとともに、閉塞感を打破し、大町市の発展に寄与する事を目的とする。

H13年より10ヶ年計画で農具川の両岸にツツジ2千本、アヤメ1万株の植栽を計画し、H21年までにツツジ1,400本、アヤメ8,500株を植栽した。

事業内容

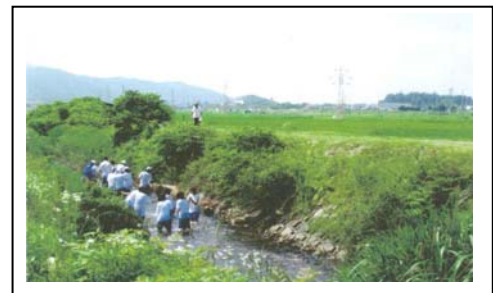
- H16年の豪雨で被害を受けたアヤメの植栽地を拡幅し、1,650株を植え替えた。
- 蛍の育成水路を改修し水路水量調整器を取付け、蛍を自然発生させた。
- 農具川の両岸1.5kmの草刈りを年2回実施した。
- 水環境についての講演会を行い、大町第一中学3年生の協力で不法投棄ゴミの収集を実施した。水環境に親しみ、学ぶ機会となっており、本年度で6回目である。



【アヤメの植栽地】

事業効果

- 大町山岳博物館への道路沿いにあることから、帰途にバスを止めて見学する観光客のほか、近隣の老人福祉施設や市内保育園からの見学者が年々増加している。また、写真家、写生グループも増えている。
- 新聞への掲載やTVでの放送により、県外からの来訪者も増えている。
- 蛍の育成水路改修場所から大町市の天然記念物でもあり、環境省「絶滅危惧Ⅱ類」に指定されているカワシンジュガイの生息が新たに確認された。
- 大町市への誘客に寄与するとともに、お年寄りや子どもも楽しめる市民の憩いの場が完成した。



【中学生による不法投棄ゴミ収集】

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 河川の土手は玉石と砂が多く乾燥し易い土壌のため、猛暑時の散水に苦慮した。
- 5月下旬に開花するアヤメは寒さに強く大町のような寒冷地に適しており、花屋にはない大町の特産として40cm程のアヤメの鉢植えの販売を目指したい。
- 河川の側道を景観の素晴らしいサイクリングロードとして定着するよう検討中。
- 今後さらなる地域住民への協力を呼びかけ、協働の地域づくりとしての取り組みが必要である。
- 蛍の育成等にも継続して取り組み、アヤメやツツジの開花時期だけでなく、一年を通して訪れたいような場所とすることを目標に、次世代に引き継がれる事業となるよう取り組んでいきたい。

【選定のポイント】

地域住民らと協働した植栽による景観形成や、中学生らとの協働による清掃活動により環境美化に取り組むなど協働性の高い事業である。取り組みの結果、観光地としても注目を集め、地域の観光振興にも寄与した。

団体名 農具川環境美化委員会（大町市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先 猪又 毅 電話 090-5504-0533	事業費	825,364円
	支援金額	723,000円